

令和7年度 学校評価総括(計画)表【I】 香芝市立香芝西中学校

前年度の成果と課題	教育目標	豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、主体的に活動する生徒の育成				総合評価	
<p>教職員の連携により、情報を共有し同じ方向性を持って教育活動を展開することができた。その結果、落ち着いた学習環境のもと、生徒は学校行事、生徒会・委員会活動、部活動等に意欲的に取り組むことができた。</p> <p>地域との連携については、定期的に開催する学校運営協議会において、円滑な学校運営を展開する上で適切な指導・助言をいただいた。今後、生徒を取り巻く状況は複雑化・多様化するが、学力保障に向けた取組の具体化、部活動の地域移行後を見据えた、教育活動の再構築など課題である。今後も教員の指導力の向上に努めるとともに、信頼される学校づくりをさらに進めていく。</p>	運営方針	目指す学校像「一人ひとりが生き生きと輝き、思いやりや心づかいが見える学校」				B	
	本年度の重点目標	①学びたくなる授業の創造と確かな学力の定着の推進	A	A	A		<p>学習指導要領ならびに「香芝市学校教育の指導の重点」の趣旨を踏まえ、教育目標や運営方針を設定している。</p> <p>年度当初にグランドデザインを共有し、「目指す学校像」・「生徒像」・「教師像」について新着任の教職員も含め共通理解を図っている。</p> <p>前年度の総括や学校評価、学校運営協議会、地域保護者の意見を踏まえて、重点目標を設定した。それをもとに各職務分野でも目標を設定している。</p> <p>学校運営や教育活動を可視化し、関係者に示すことができた。</p> <p>年度当初の職員会議において時間をとり、丁寧に説明し共通理解を図っている。</p> <p>今年度の重点目標を踏まえ、儀式的行事、各種会合等において発信している。</p>
		②自律と奉仕の精神の育成	A	A			
		③特別支援教育の推進・校内支援体制の確立	B	B			
		④美しく温もりのある校内環境づくり	B	B			
⑤地域に開かれた、信頼される学校づくり	A	A					
学校経営	評価の観点	I	II	評価	成果と課題(評価の分析)	次年度への課題と改善策等	学校関係者評価
教育目標 経営方針	① 学習指導要領や「香芝市学校教育の指導の重点」等を踏まえた教育目標や経営方針を設定している。	B	B	A	<p>学習指導要領ならびに「香芝市学校教育の指導の重点」の趣旨を踏まえ、教育目標や運営方針を設定している。</p> <p>年度当初にグランドデザインを共有し、「目指す学校像」・「生徒像」・「教師像」について新着任の教職員も含め共通理解を図っている。</p> <p>前年度の総括や学校評価、学校運営協議会、地域保護者の意見を踏まえて、重点目標を設定した。それをもとに各職務分野でも目標を設定している。</p> <p>学校運営や教育活動を可視化し、関係者に示すことができた。</p> <p>年度当初の職員会議において時間をとり、丁寧に説明し共通理解を図っている。</p> <p>今年度の重点目標を踏まえ、儀式的行事、各種会合等において発信している。</p>	<p>学校教育目標の実現に向け、これまでの教育活動の中で大切にしてきた取り組みを大切にしつつ、全ての教職員が「本年度の重点目標」を意識しながら教育活動にあたりたいけるよう、年度当初に示す学校経営方針を明確に示す。</p> <p>また、教職員に対し、「目指す学校」・「生徒像」・「教師像」の周知・理解を求めることに加え、様々な場面で具現化を図るよう呼びかける。</p>	<p>法令及び「香芝市学校教育の指導の重点」を踏まえ、家庭・地域に信頼される学校づくりを全教職員の共通理解の上、尽力いただきたい。</p>
	② 目指す学校像・生徒像・教師像を具体的な姿で示している。	A	A				
	③ 学校の特色や前年度の課題を踏まえた重点目標等を設定している。	B	B				
	④ 学校運営や教育活動を構造化・体系化したグランドデザイン等に示している。	B	B				
	⑤ 経営方針や重点目標等を教職員が共有している。	A	A				
	⑥ 重点目標等を学校だよりやホームページ等で生徒・保護者・地域住民等に発信している。	B	B				
重点目標	① 学びたくなる授業の創造と確かな学力の定着の推進	B	B	B	<p>職員会議や職員研修を通じて「指導と評価の一体化」を図るよう伝達した。また、見直しをもった学習活動や振り返り活動の充実を徹底した。</p> <p>2学期当初の除算作業、年末の校区内の美化作業などの生徒主体の活動に充実を努めた。月に一度の挨拶運動や地域の方々への挨拶の励行にも力を注いだ。</p> <p>全休人教職員において、支援を要する生徒について共通理解を図るとともに、担当者任せにしない特別支援教育の充実を努めた。</p> <p>年度末に校内の不要物の廃棄を行う仕組みを整え、校内環境美化に努めている。</p> <p>各種通信類、一斉メール配信、保護者会等、様々な機会に情報を発信した。</p>	<p>① 学習面に課題を抱える生徒への支援として、放課後学習会「まなびの場」と放課後図書室開放を実施し、学習習慣の定着と学力の向上を図った。</p> <p>② 学校評価アンケート(生徒)「私は掃除や係活動(通達・委員会活動)にまじめに取り組んでいる」で肯定的に回答した生徒の割合が92.0%であったことを踏まえ、引き続き生徒会活動を活性化させる取組を見がかりに改善を目指す。</p> <p>③ 特別支援教育コーディネーターを中心として、対面で情報共有を図ると、校区内小学校との連携を強化しながら9年間の見直しを持った特別支援教育を推進していく。</p> <p>④ 地域や行政の身から協力いただきながら校内環境を維持しつつ清掃活動や係活動にも組織的に対応する。</p> <p>⑤ こまめな情報発信やコミュニケーションを通じて学校の取組を可視化し、信頼関係の一層の構築を目指す。</p>	<p>「まなびの場」「放課後図書室開放」など、新たな取組を通じて子どもたちの学力向上に尽力いただきたい。</p> <p>また、夏に実施している除草作業について、次年度以降も協力していく。</p>
	② 自律と奉仕の精神の育成	B	B				
	③ 特別支援教育の推進・校内支援体制の確立	B	B				
	④ 美しく温もりのある校内環境づくり	B	B				
	⑤ 地域に開かれた、信頼される学校づくり	A	A				
組織運営 校務分掌	① 学校の課題や今日的な教育課題に対応するための組織づくり、具体的に取り組んでいる。	B	B	B	<p>校務分掌、学年、教科等それぞれの場面において組織的に取り組むことができた。</p> <p>年間計画に基づき、企画運営委員会や各種会議を開催することができ、組織的な運営ができた。</p>	<p>組織体制の在り方を常にチェックしていきながら、必要に応じて軌道修正できるように、風通しのよい教職員風土を維持する。また、教職員において、学校運営における無関心の根絶を目指す。</p>	<p>円滑な学校運営には、教職員の連携が必要不可欠であることを踏まえ、教頭を中心とした連絡体制を引き続きお願いする。</p>
	② 企画(運営)会議や学年会議、分掌会議を定期的に開き、組織的な運営を進めている。	B	B				
学校評価	① 学校評価委員会等を設置し開催している。	B	B	B	<p>学校評価検討委員会を設置し、学校評価の目的等を共有し、学校を円滑に運営する上での貴重な意見と捉えている。</p> <p>分掌、学年、教科等、様々な立場からの総括を可能とするよう、年間計画において会議の期日をあらかじめ決めておくなど、組織的に学校評価を進めることができた。</p> <p>経年比較が可能となるよう設問を設定し、職員会議にて共通理解を図り、実施することができた。</p> <p>本年度の重点目標の達成状況を把握することができるよう評価項目を設定できた。</p> <p>アンケート結果を全教職員に公開し、それぞれの立場での自己評価を活用するよう呼びかけている。</p> <p>定期的な開催されるPTA役員会において学校運営に対する意見をいただくこととなった。</p> <p>個々の教員の自己評価を踏まえ、学校関係者からいただいた意見を、個々の教員が必要に応じてフィードバックしている。</p> <p>アンケート結果を踏まえ職務を遂行するよう周知し課題解決につながる取組をすすめるよう呼びかけることとどまった。</p> <p>本校ホームページを通じて自己評価の結果を公表している。</p> <p>本校ホームページを通じて学校関係者評価の結果を公表している。</p>	<p>保護者・生徒・教職員、それぞれの立場からのアンケート結果を分析し、結果のみならず分析結果を関係者と引き続き共有する。</p> <p>また、アンケートへの回答依頼を「ミマモルメ」にて複数回配信し、分析結果を踏まえた教育活動に厚みを持たせ、信頼される学校づくりに尽力する。</p> <p>学校評価アンケート(保護者)「学校は子どもの自主性や主体性を育む取組を積極的にやっている」で肯定的に回答した保護者の割合が76%であったことを受け、生徒の主体性を生かした取組の一層の充実が課題であると考える。引き続き生徒会活動を活性化させる取組を見がかりに改善を目指す。</p> <p>さらに、ICT支援員との連携を強化し、電子媒体による学校評価方法が浸透することにより、学校教員の分析業務の改善が見られた。</p>	<p>学校評価アンケート(生徒)「私は元気な挨拶や礼儀正しい行動を心がけている」の項目で、肯定的に回答した生徒の割合が86%、学校評価アンケート(保護者)「生徒たちは元気に挨拶ができています」の項目で、肯定的に回答した保護者の割合が62%であり、数値の乖離が見られるが、挨拶のできる生徒の育成に尽力いただき、活気のある教育活動を期待しています。</p>
	② 学校全体で組織的に学校評価を推進している。	B	B				
	③ 学校評価の推進計画を作成し、計画的に推進している。	B	B				
	④ 本年度の重点目標等に向けた具体的な目標や取組を評価項目として設定している。	B	B				
	⑤ 生徒や保護者等を対象としたアンケート(授業評価を含む)を自己評価に適切に活用している。	B	B				
	⑥ 保護者を含めた学校関係者評価委員会を設置し開催している。	B	B				
	⑦ 自己評価の結果を踏まえた学校関係者評価を実施している。	B	B				
	⑧ 学校評価をツールとして活用し、学校改善が進んでいる。	B	B				
	⑨ 保護者や地域住民等に自己評価の結果を公表している。	B	B				
	⑩ 保護者や地域住民等に学校関係者評価の結果を公表している。	B	B				
教育課程	① 学校や地域の実態及び生徒の特性を踏まえ、主体的・創造的に活動できるような教育課程を編成している。	B	B	B	<p>生徒が主体的・創造的に活動できる場として、生徒会活動や委員会活動の充実を努めた。</p> <p>教務主任が中心となつて年間授業時数の点検を定期的に行い学習指導要領で定められている標準時数の確保に努めた。</p>	<p>生徒の主体的活動を充実させる取組として、日々の授業では生徒が見直しをもって学習できるような本時の課題を明示することを徹底している。</p> <p>教務主任との連携を密にしながら、学習指導要領が定める標準時数の確保に尽力する。</p>	<p>授業時数の確保にご尽力いただいていることを理解しました。引き続き、学習指導要領が定める標準時数の確保にご尽力いただきたい。</p>
	② 授業時数の点検を定期的に行い、年間授業時数の確保に努めている。	B	B				
地域連携	① 地域住民や保護者と連携・協働して、課題解決に向けて取り組んでいる。	B	B	B	<p>学校運営協議会、地域ボランティア、PTA等と連携・協働して除草作業を実施したりグランドツアー・講演会などの取組を実施した。</p> <p>校区内自治会と連携し、地域住民に月に1回の資源回収を行っている旨、情報発信している。</p>	<p>地域・学校協働活動推進員が窓口となり、学校生活、学校行事、昼下校時の見守り活動等においてサポートいただき、円滑な学校運営に大きく寄与いただいた。今後も地域に開かれた、信頼される学校づくりに向け取組を推進する。</p>	<p>学校が抱える課題を発信いただき、学校関係者として協力できる体制を構築していきます。</p>
	② 保護者や地域住民等に対して、地域連携の取組を情報発信している。	B	B				
危機管理	① 公文書や個人情報の管理や保護を適切に行っている。	B	B	B	<p>学校への配布文書のチェック体制を強化した。また、定期テストの答案などの保管方法や保管場所について、職員間で共通理解を図った。</p> <p>定期的な危機管理対応に資する研修や訓練を行い、不測の事態に対応する取組を一層充実させる。</p> <p>年度当初に、アレルギー生徒の情報を共有し、有事の際の緊急対応について確認した。</p>	<p>全国的に生徒の安全面に心配される事件や自然災害が起きていることから、気象警報発令時の対応や不審者対応マニュアルを全員で再度確認するなど危機意識を高めるよう努めた。今後も共通理解をばらけ、生徒の安全に努めたい。</p>	<p>気象警報発令時の対応は、昨今の気候変動から喫緊の課題と考えます。生徒の命を守る体制づくり・行動に抜け落ちのないようお願いします。</p>
	② 危機管理マニュアルを作成し、共通理解している。	B	B				
	③ 食物アレルギー等を有する生徒に対して、指導体制や緊急対応の体制を整えている。	B	B				

評価基準【 A：十分達成できた(達成度80%以上) B：おおむね達成できた(達成度60%以上80%未満) C：あまり達成できていない(達成度40%以上60%未満) D：達成できていない(達成度40%未満)】

教育活動	評価の観点	I	II	評価	成果と課題(評価の分析)	次年度への課題と改善策等	学校関係者評価
学習指導	① 学習指導要領に基づき、教育目標等を踏まえた各教科等の年間指導計画を作成・活用するとともに、シラバスを作成して生徒や保護者に公表・活用している。	B	B	B	各教科の学習目標を示したシラバスを作成し、各教科の授業開きの機会に授業内容や学習の方法、評価の方法などを詳しく説明し、生徒が使用する学習用端末での閲覧が可能にした。	年度当初に公開したシラバスに基づき、概ね計画通りに進めることができた。出席停止の生徒にはオンラインで授業を受けられるよう体制を整備し、内容や授業の進捗に対する配慮を行った。	
	② 基礎的・基本的な知識や技能の習得と、それらの活用を図る具体的な取組を計画的に行っている。	B	B	B	教科の特性に応じて小テストや実技テストをこまめに実施し、知識・技能の習得を図っている。	学習評価アンケート(生徒)「私は学習に対して目標をもつて意欲的に取り組んでいる」で肯定的に回答した生徒の割合が79.0%(昨年度より5ポイント上回っている。今後、調査結果を踏まえ、個々の授業においては、生徒が見通しをもって学習できるように、学習課題や目標を明示したり、自らの学びを振り返り学習課題を解決したりする機会を確保し努めるとし、学習面で課題を抱える生徒への支援を充実させ、「分かる喜び」を味わわせる指導を推進していく。	生徒の学力向上は、学校関係者・生徒・保護者共通の願いであることに加え、生徒に学習意欲を持たせる指導の充実と、個々の教員が持つ専門的なスキルを発揮した質の高い指導の充実をお願いいたします。
	③ 習熟度別指導や少人数指導等を取り入れ、個に応じた指導を行っている。	B	B	B	少人数加配いただいた教科を中心に少人数指導を展開したり、放課後図書室開放の機会に個に応じた指導を展開したりしている。		
	④ 体験的な学習や課題解決的な学習等、生徒が主体的に取り組む学習を行っている。	B	B	B	観察・実験・実習等の体験的な学習を伴う教科や校外学習・修学旅行の機会を活用している。		
	⑤ 授業における生徒の学習状況を適切に評価し、指導に生かしている。	B	B	B	定期的な机間巡回や提出物に対する指導などを行い、評価活動を適切に行った。また、生徒に自己評価を行わせ指導に生かす教科もあった。		
学習意欲	① 生徒の学習の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	B	B	全国学力・学習状況調査の結果を教職員で共有し、課題のある「学力二極化」を克服するために、放課後の学習の機会を設定し、取組を進めている。	学力向上の手立てとして、教科指導における校区内小学校との連携が図られる。今年度、英語教育、英語教育に携わっている小中それぞれの教員が互いの指導について意見交換したり互いの授業を見学するなど「小中連携」を深めることができた。	学習意欲を高める手立てとして、「分かる喜び」を味わわせたり、「学ぶ意欲や学ぶ必要感」を感受せたり、「知的好奇心を喚起したりする指導の充実が考えられるので、生徒の実態に即した指導の工夫をお願いいたします。
	② 学習意欲向上のために、教科等において具体的な取組を行っている。	B	B	B	授業開きにおいて、教科が学ぶ意欲について説明したり、授業規律の維持に努めている。	香芝市指定研究事業において「小中連携を踏まえた英語授業」を研究発表発表を行った。	
	③ 家庭での学習習慣の定着に向けた具体的な取組を行っている。	B	B	B	校区内の小学校と連携し、春期休業中の課題として新入生向けに教材「プレントランス」を与えるなど家庭学習の充実を図っている。		
生徒指導	① 生徒の実態について共通理解し、教職員が連携して、組織的・継続的に指導する体制を整えている。	B	B	B	生徒に関する情報を毎朝の打合せで教職員研修を通じて共有し、共通理解のもとで指導を展開している。	生徒指導専ら起きた際には生徒指導専ら中心となり、迅速な対応を心がけた。今年度、教職員個々の考え方の相違や経験の軽重があることを受け、校区内小学校教員も交えた生徒指導事例研修会を実施した。	生徒指導において、事案の円滑な解決には、初期対応が必要であるといわれており、迅速な対応を心がけた。今年度、教職員個々の考え方の相違や経験の軽重があることを受け、校区内小学校教員も交えた生徒指導事例研修会を実施した。
	② 指導や支援のできる教育相談体制を整えている。	A	A	A	生徒指導専ら中心に学年や担任と連携し、特に初期対応の機会を大切に指導を行うことができた。		
	③ 家庭や地域、関係機関等との連携・協力体制ができています。	B	B	B	地域からの情報提供を受け、対応する機会が昨年度以上に多く、円滑な対応につながった。		
規範意識	① 生徒の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	B	B	定例の職員会議において各学年や学校全体の生徒の実態を報告し合い、課題を共有し、課題解決に向けて取り組んでいる。	学校評価アンケート(保護者)「学校ははじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」に対し、肯定的に回答した保護者の割合は、77%(昨年度より6ポイント上回った)の結果を実感し、生徒に寄り添った指導を行ったり、事案発生後の初期対応を迅速に行ったりするなど、諸問題に対する学校の姿勢を再点検し、家庭・地域に信頼される学校づくりに努める。	規範意識は、一朝一夕のうちに改善するものではない。教職員が自身の日々の言動を振り返り、生徒への見守り活動を継続的に実行し、生徒の成長に寄り添ってほしいとも考えます。今日の課題の一つとして挙げられる。SNSを通じたトラブルの解決のため、保護者との連携も大切であると考えます。
	② 課題解決に向けて、具体的な取組を行っている。	B	B	B	いじめについてアンケート調査の結果を共有し、早急な対応を求められる事案を抽出し、学級担任を中心とした取り組みを実施するなど取り組んでいる。		
	③ いじめに関して実態を把握するとともに、教職員が共通理解の下、いじめの防止・指導に取り組んでいる。	B	B	B	定期的な取組を実施している。また、人権権等やいじめの被害を考える機会をもつなどの指導にも取り組んでいる。		
	④ 規範意識を高めるために、保護者や地域住民、関係機関等と連携して取り組んでいる。	B	B	B	「ニコニコあいさつ」や朝のPTA学習を規範意識を高めるための具体的手立てとして位置付け、様々な立場の方のつながりを通じて規範意識の向上に努めている。		
特別の教科 道徳	① 道徳教育の全体計画を作成し、活用している。	B	B	B	年間指導計画を作成し、概ね計画どおりに実施できた。	道徳の指導案作成から始まる一連の業務を学級担任だけでなく、当該学年の教員全員が担い、位置づけ、道徳教育を展開することができた。	組織的に道徳教育を展開している点については、今後大切にしていきたい。道徳の授業を基礎としながら学校生活をより豊かなものにしていただきたい。
	② 道徳教育を推進するための体制を整え、具体的な取組を行っている。	B	B	B	学級担任が、受け持つ学級生徒を指導する体制をあらため、取り上げ教材や生徒の実態に即して学年教員が指導する体制に変更した。		
特別活動	① 特別活動の全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画を作成し、活用している。	B	B	B	年間指導計画を作成し、概ね計画どおりに実施できた。	学校評価アンケート(生徒)「学校行事でクラスが団結して達成感を味わうことができた」に対し、肯定的に回答した生徒の割合は、92%であった。また、生徒が主体的に活動する機会を確保し、生徒が主体的に活動できる機会を引き続き確保する。	学校行事を通じて生徒が達成感やなごみとの連携を味わうことができる学校風土の香芝西中学校が一つあることを考えます。学校行事のねらいを明確にしながら生徒が主体となる学校の活性化に引き続きご尽力ください。
	② 生徒の望ましい集団活動や体験的な活動を充実するために各活動・学校行事の内容等を工夫している。	B	B	B	2学期において、体育大会や文化発表会では、準備の段階から生徒が主体的に活動できる場面を設定し、学校の団結力を生徒自身が実感できるものとなった。		
	③ 生徒会活動等を全教職員の協力体制の下に実施している。	B	B	B	昨年度より、生徒会担当を部活動顧問と同等に位置づけ活性化を図っていることである。生徒が主体的に活動できる機会を引き続き確保する。		
人権教育	① 生徒や地域の実態を踏まえ、県の「人権教育推進プラン」に基づいて人権教育推進計画を作成している。	B	B	B	人権教育推進計画に加え、「人権教育年間計画」を作成し、取組の柱に沿った指導を学年単位で展開している。	各学年の学習課題を設定し、1年生は「障がい者差別」について、2年生は「部落差別問題」について、3年生は「平和学習」について人権学習に取り組んだ。各学年の課題以外にも人権差別問題に取り組み、更に多角的に生徒・保護者の人権意識が高揚するよう努めた。	人権教育をベースにして教育活動を展開するという考え方は奈良県教育の特色の一つと考えます。さまざまな人権問題がありますが、生徒の実態に即して計画的かつ組織的に取組を進めてください。
	② 生徒・保護者の人権意識を高める多様な取組を計画・実施している。	B	B	B	生徒及び保護者の人権意識の高揚を目的とした教育講演会を実施している。今年度はSNSトラブルを切り口にした講演会を実施した。		
特別支援教育	① 特別支援教育推進計画等を作成している。	B	B	B	年度当初に推進計画を立て、全教職員で共通理解を図っている。特に中学校区内小学校との連携を密にしている。	校区内小学校の入級児童との交流を通じた学習会や年間指導計画に位置付け、見通しをもった活動を継続して実施している。指導に当たり教職員が互いの指導に密にしながら9年間の切れ目のない指導を追究する。	特別支援学級に在籍している生徒への支援だけでなく、普通学級に在籍している、私塾通学する生徒の支援も同様大切であると考えます。保護者の安心し生活に寄り添い、すべての生徒が安心して学べる環境づくりをお願いします。
	② 特別支援教育を推進するための組織を整備し、具体的な取組を行っている。	B	B	B	新規を迎える前から担当者レベルでの打ち合わせを重ね、年度当初の職員会議で支援を要する生徒の情報を共有を図ると、特別な教育課程の実施に備えた。		
キャリア教育	① キャリア教育の全体計画を作成している。	B	B	B	小学校から引き継ぎ、高等学校へ引き継ぐことを見通した全体計画を作成している。	職場体験学習による教育効果を検証し、現在実施している職業人講話との比較において、キャリア教育の方向性を見だし、生徒が自らの進路について見つめる機会を創出した。	「キャリアパスポート」により、小・中・高と切れ目のないキャリア教育を進めている香芝西中学校が一つあることを考えます。生徒が自らの進路を振り返り、主体的に進路選択できるよう、ご指導をお願いいたします。
	② 職場体験学習等を適切に実施し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成している。	B	B	B	職場体験に変わる新しい形のキャリア教育として、本校を拠点としながら地域の人的資源を活用した職業人講話を実施した。		
健康安全	① 学校保健・安全計画を作成している。	B	B	B	年度当初に学校保健・安全計画を作成し、教職員と共有の上、教育活動を行うことができた。	学校評価アンケート(生徒)「私は掃除や係活動にまじめに取り組んでいる」に対し肯定的に回答した生徒の割合は92%であったことに加え、ほとんどの生徒が与えられた役割を果たしていることが伺え、今後その意欲を教職員で再認識し、生徒・教職員の垣根を超えて環境美化や清掃活動に努めてまいります。	今年度、登下校時における自転車事故件数は昨年度と同様に非常に少ない。引き続きヘルメットの着用、交通ルールの順守等、生徒の命を守るための指導の徹底をお願いします。
	② 薬物乱用や喫煙の防止、性教育、交通安全等に関する指導を行っている。	B	B	B	薬物乱用・喫煙の防止の指導は3年生で実施し、命の教育・性教育等(デートDVなど)の指導は外部から講師を招聘してそれぞれ実施できた。		
	③ 生徒の自己管理能力向上のために、健康相談、保健指導を適切に行っている。	B	B	B	養護教諭、保健主事、教育相談担当教員を中心とした健康相談や保健指導を行うことができた。		
	④ 避難訓練や奈良シェイクアウト訓練を実施したり、防災学習を年間指導計画に位置づけ、学校全体として健康安全教育を展開することができた。	B	B	B	避難訓練や奈良シェイクアウト訓練を実施したり、防災学習を年間指導計画に位置づけ、学校全体として健康安全教育を展開することができた。		
	⑤ 校舎、校庭等の環境美化や清掃活動に力を入れている。	A	A	A	教職員の指導監督のもと、施設管理士、小さな変化に気付く早期に対応することにつながった。		
食育	① 生徒の食生活の実態を踏まえた食育推進のための計画を作成し、具体的な取組を行っている。	B	B	B	毎月19日を「食育の日」と定め、保護者への周知を図るとともに香芝市や給食センターと連携しながら適切に実施している。	年度当初にアレルギー研修を実施し、救急セットの所在を全体で共有するだけでなく、有事の際の対応をすべての教員が行えるよう体制をとった。今後もアレルギーを持つ生徒への把握に努め、適切に対応できるように研修と情報共有に努める。	救急セットの所在を明らかにするなど、有事に速やかに対応できる体制をとっていることは大いに評価できる。新年度を迎えるにあたり、新たな情報共有と有事における速やかな対応をお願いいたします。
	② 生徒・保護者の食に関する意識を高める取組を行っている。	B	B	B	食に関する意識向上に資する取組として、給食だけでなく毎月ホームページに掲載し、保健だよりを毎月紙媒体で配布している。		
読書活動	① 全校一斉の読書活動など、読書活動を推進する取組を行っている。	B	B	B	落ちがいて読書活動ができるよう、静謐な環境を維持するとともに読書の日を設定した。	生徒が読みたくなる図書を大幅に増やした「読書センター」としての機能を充実させた。また、学習面に課題を抱える生徒の支援をおこなうために図書室を位置付け、「学習センター」としての機能も果たすための取組を推進できた。	図書館司書の配置により、図書室の環境整備が加速でき、引き続き生徒の読書活動の充実に向けてまいります。
	② 学校図書館が読書活動や教科指導等において有効に活用されている。	B	B	B	「図書だより」の発行、図書貸し出し、新着図書紹介、中高生新聞(2誌)の公開、放課後図書室開放など、図書室がもつ機能の充実に向けた。		
体力向上	① 生徒の体力の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	B	B	関係教員レベルでの課題の共有にとどまり、全教職員で共有するまでには至らなかった。	生徒の健全育成において、保健体育科の学びや年度の行事での学びが重要であることに加え、今年度には引き続き来年度も同様の取組を行っている。	年間計画に位置付けられている体育大会や長距離走大会などの学校行事の機会を活用し、運動することを楽しむことと、持続可能な体力向上を図るとともに、持続可能な方法を追求してまいります。
	② 保健体育科の授業で、体力向上を図る具体的な指導計画を作成して取り組んでいる。	B	B	B	課題のある体力向上を目標に取組をおこなっている。小学校での指導・実力にも力を注ぎながら今後も継続的に取り組んでいる。	また、全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果を踏まえ、今年度は、職員会議における議題に盛り込み、議題を全教職員で共有するとともに、課題解決に向けた取組を全校体制で行っている。	
	③ 保健体育科の授業以外で、体力向上のための具体的な取組を計画して取り組んでいる。	B	B	B	学校行事として昨年度に引き続き長距離走大会を実施することができた。		
研修・研究	① 教職員が積極的に研究・研修に参加し、その成果を教育活動に反映させている。	B	B	B	昨年度実施した生徒指導研修の参加対象を中学校区小学校教員にまで広げ、各自の生徒指導上の課題を出し合い機会を設け、教員の指導力向上に努めた。	中学校区内の小学校教職員と連携を図り、義務教育9年間研修の開催を前年よりより円滑な研修のシフトを追究する。また、教職員研修の企画・立案を積極的に行い、日々の教育活動に繋げるよう、教職員の資質向上に努める。	先生活の資質向上は、生徒の健全育成に繋がります。地域の一員として子どもたちの健全育成のために、先生方の取組をサポートしていきたいと思っております。
	② 授業研究を計画的に実施し、授業改善に全校体制で取り組んでいる。	B	B	B	教科の枠を超えて互いの授業を見学する機会が少なく、全校体制で取り組んでいることは、言い難い状況であった。		
	③ 今日の教育課題や学校の課題に即した研修を計画・実施している。	B	B	B	教職員の指導力向上を図る観点から、教科指導や生徒指導に関する小中合同研修を実施し、小中連携の具体化を図った。		